

サポートルーム通信



令和6年4月吉日 No.1

拠点校入二小 校長 田嶋 秀明

巡回校開桜小 校長 森 伸一

巡回校池上小 校長 平林 里美

巡回校入四小 校長 前川 忠彦

<拠点校学校長より>

拠点校 入新井第二小学校長 田嶋 秀明

今年は、4月に入りようやく桜が咲き始め、始業式当日に満開となり、こどもたちの進級をお祝いしてくれていました。本年度もサポートルームどうぞよろしくお願いいたします。サポートルームでは、本来もっているこどもたち一人ひとりの力を学校の中で発揮することができるようにサポートをすることを目的としています。苦手なことでもチャレンジすることで「できた!」「楽しかった!」という成功体験がこどもたちの自信へと繋がっていきます。こどもたちに寄り添いながら、達成感が得られるように、入新井第二小学校を拠点とした6名の教員が4校を巡回して指導して参ります。今年度も、サポートルームでの指導にご理解とご協力をお願いいたします。

お子さまのことで気になることがございましたら、何でもお気軽にご相談ください。

<サポートルーム 巡回指導教員より>

サポートルーム運営のガイドラインが改定されて3年目となり、利用継続についても見通しがもてるようになりました。これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

やわな りょう
八幡 亮

保護者の皆様、担任の先生と連携を取りながら、こどもたちが充実した学校生活を送れるよう、指導・支援に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

やまだ ひろあき
山田 浩明

こどもたちが、自分の良さに気づき、自信をもって毎日の生活を送れるよう、保護者の方とも連携しながら、指導・支援に努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

くぼのや ともち
久保ノ谷 知子

こどもたちの「できた」「わかった」を増やすために、学校でできる支援、ご家庭でできる支援について保護者の皆様と一緒に考えていきたいです。1年間よろしくお願いいたします。

みなみで あつし
南出 敦

こどもたちのできることや良いところを伸ばして、笑顔で過ごせるように、保護者の皆様と一緒に支えていきたいと思っています。1年間よろしくお願いいたします。

まつの しゅうた
松野 翔太

困った時こそ、成長のきっかけになる時だと捉えて、ご家庭・学校・こどもたちと共に歩んでいきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

おの まさみ
小野 政美



<特別支援教室専門員より>

特別支援教室専門員とは...

巡回指導教員が巡回しない日でも、それぞれの学校とスムーズに連携が取れるよう、連絡調整役を務めます。教材の製作や授業の観察、支援を通して、サポートルームのこどもたちともかかわります。

サポートルームでこどもたちの笑顔が、たくさん見られるように、支援していきます。よろしくお願いいたします。

入二小 ^{すいどう} 水道 ^{あきこ} 明子

サポートルームが居心地のよい場所であるようにサポートしていきたいです。よろしくお願いいたします。

開桜小 ^{やまぐち} 山口 ^{きょうこ} 京子

学校生活が楽しいと思えるよう手助けしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

池上小 ^{あや} 綾 ^{なほこ} 菜穂子

こどもたちが安心して学校生活を送れるようにサポートしていきます。よろしくお願いいたします。

入四小 ^{えいざわ} 永沢 ^{みやこ} 美也子

<サポートルームの指導開始と保護者会のお知らせ>

	サポートルーム開始	サポートルーム保護者会
入新井第二小学校	4月15日(月)	4月22日(月) 15:30~ @SR プレイルーム
開桜小学校	4月15日(月)	4月24日(水) 15:30~ @ランチルーム
池上小学校	4月16日(火)	4月26日(金) 15:30~ @家庭科室
入新井第四小学校	4月16日(火)	4月25日(木) 15:30~ @会議室

※個人面談については、夏季休業中に実施する予定です。



<コラム：こんな教材を使って学習します>

じょうだん？ ほんとう？ クイズ
名前 ()

① 図工でケーキの絵をかいだ

おいしそう！
食べてもいい？

じょうだん ほんとう

↓

① わらう ② 聞いてみる ③ じょうだんで返す ④ 同意する

ニコニコ 本当に 食
べるの？ いっしょに
食べよう
か！ おいそ
うでしょ！

おいしそう！
じょうずだね！

じょうだん ほんとう

↓

この教材は、文章を読んで、その文章が本当のことを言っているのか、冗談を言っているのかを考えます。活動を通して、言葉が額面通りではない時があることに気付かせます。自分なら、相手にどのような返事をするかを選択肢から選んだり動作化したりして、適切な返事の仕方を実践させます。

また、言葉の裏には発言者の思いがあることにも触れ、「自分はちょっとした言葉でキレてしまう。相手の発言の裏には相手の気持ちがあるから一度踏みとどまってみよう。」「言葉が足りないと、自分にとっては分かりづらい時がある。見通しがもてず不安なことは、確認しておこう。」などといった、それぞれのこどもの言語感覚や他者意識に関するコミュニケーションにおける課題解決に意識を向けることにもつながります。